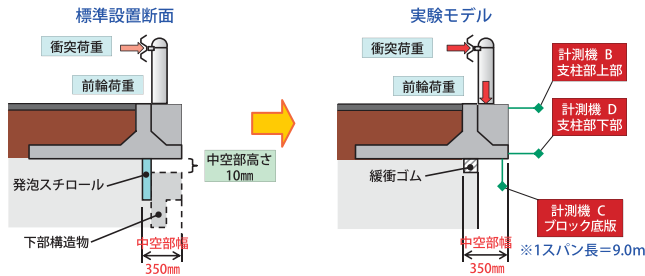


静的実験報告書

実験モデル・確認事項

確認事項

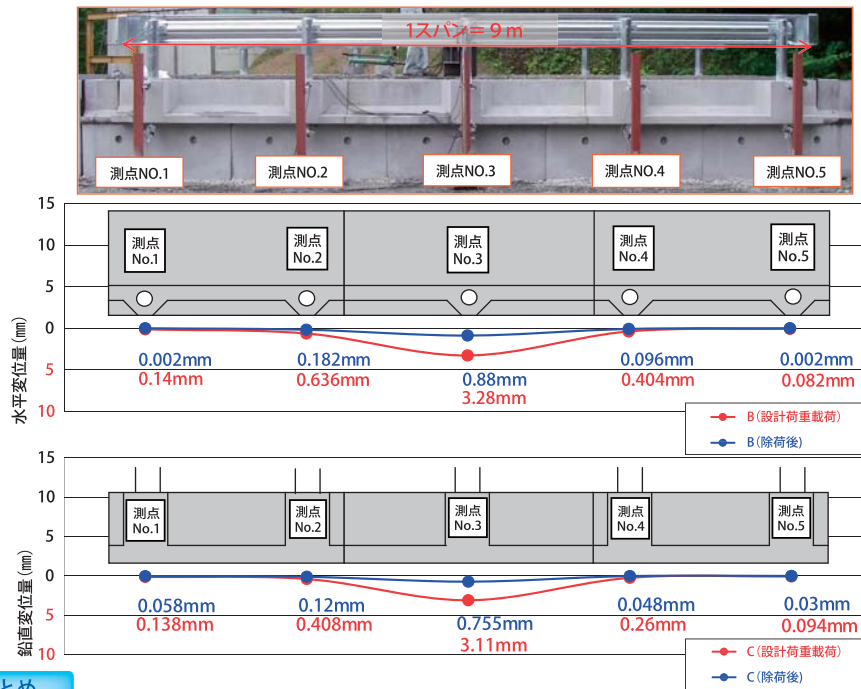
- ① 構造物全体の安全性
- ② 設計衝突荷重作用時の挙動



実験結果

設計衝突荷重載荷時および除荷後の水平・鉛直変位結果

立会人: 金沢大学理工学域環境デザイン学類構造工学 前川教授
 実験日: 平成20年6月20日 場所: 滋賀県甲賀市



まとめ

- ① 試験結果から、基礎に与える衝突荷重の影響は10m程度であり、設計条件としている基礎スパンの最大長10mは適切である。
- ② 変位結果から、鉛直変位量は3mm程度であり、設置仕様の中空部（10mm）を設けることで下部構造物に影響を与えることはないことが確認できた。

施工例



プレキャストL型擁壁直上設置の事例



積ブロック直上設置の事例



補強土壁直上設置の事例



補強土壁直上設置の事例



超軽量盛土直上設置の事例



背面に側溝設置の事例